

「多文化共生」に関する 県民アンケート結果概要

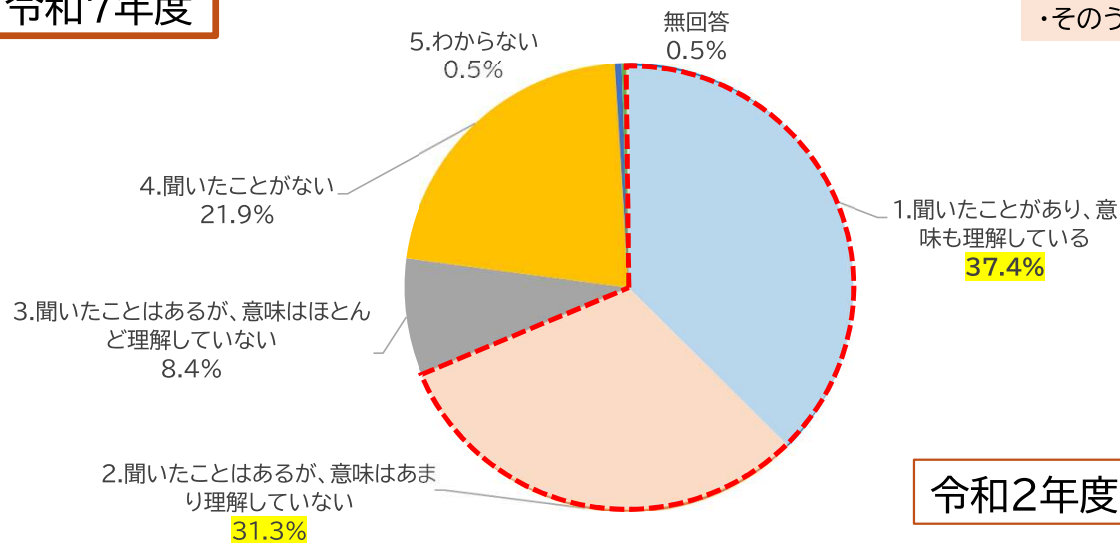
令和7年11月7日(金)

福井県交流文化部 インバウンド交流課

日本人県民向け アンケート結果

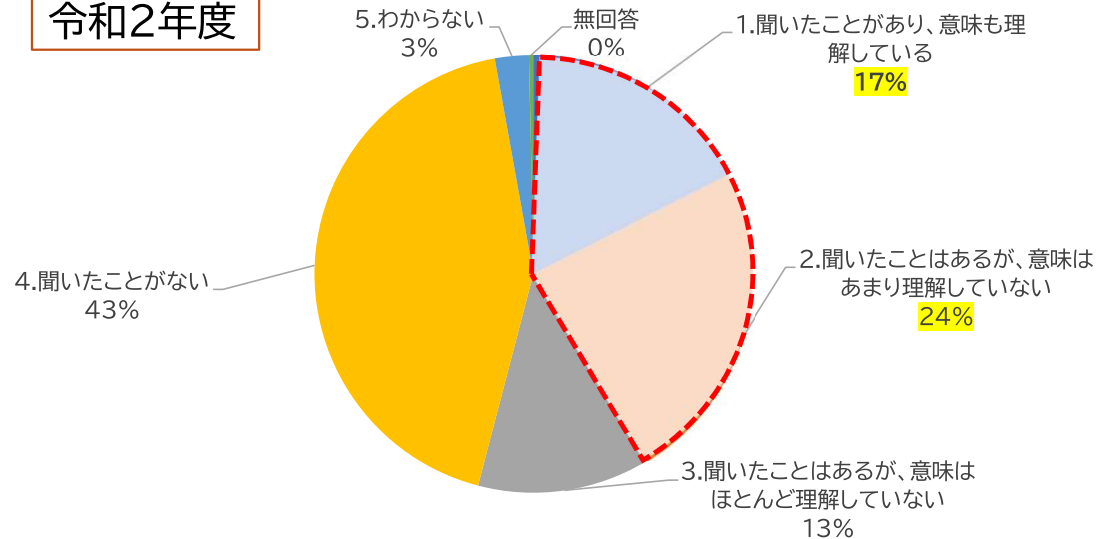
1 あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことはありますか

令和7年度



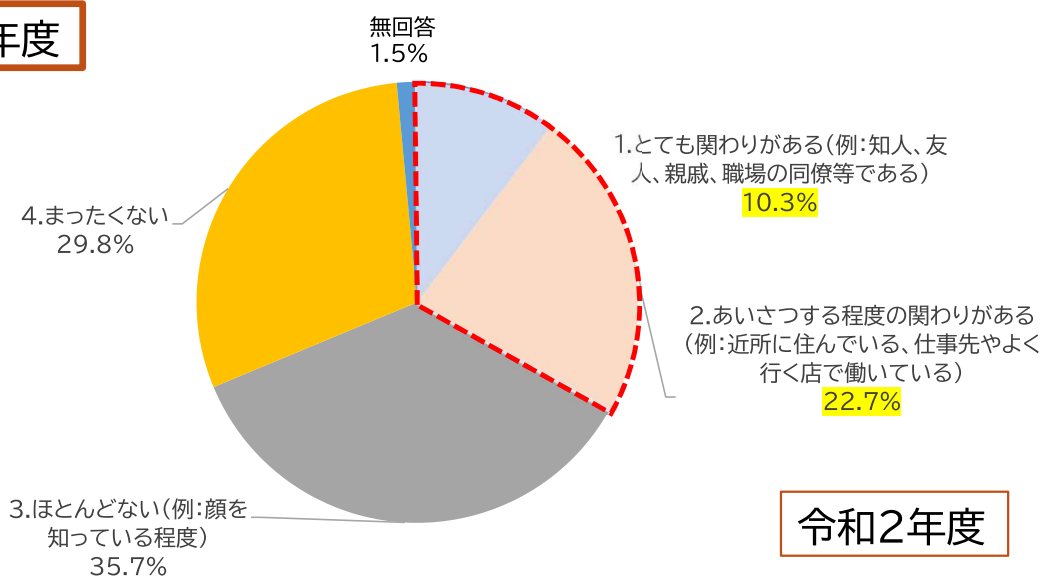
・令和2年度と比較すると認知度が約30%増加
・そのうち「多文化共生」をきちんと理解している人は約20%増加

令和2年度



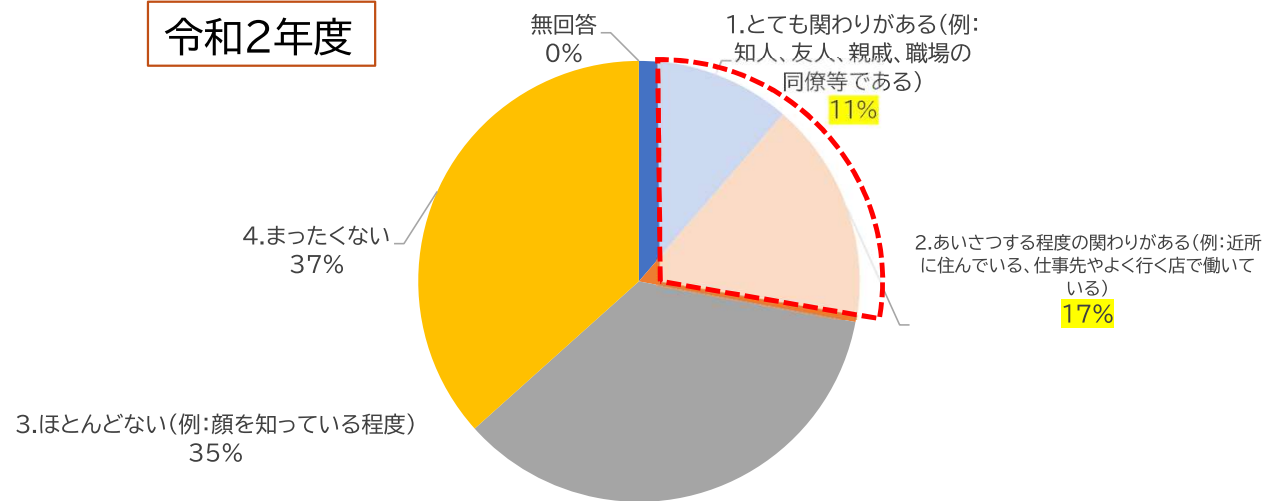
2 あなたは日常生活の中で、外国人住民とどの程度関わりがありますか

令和7年度



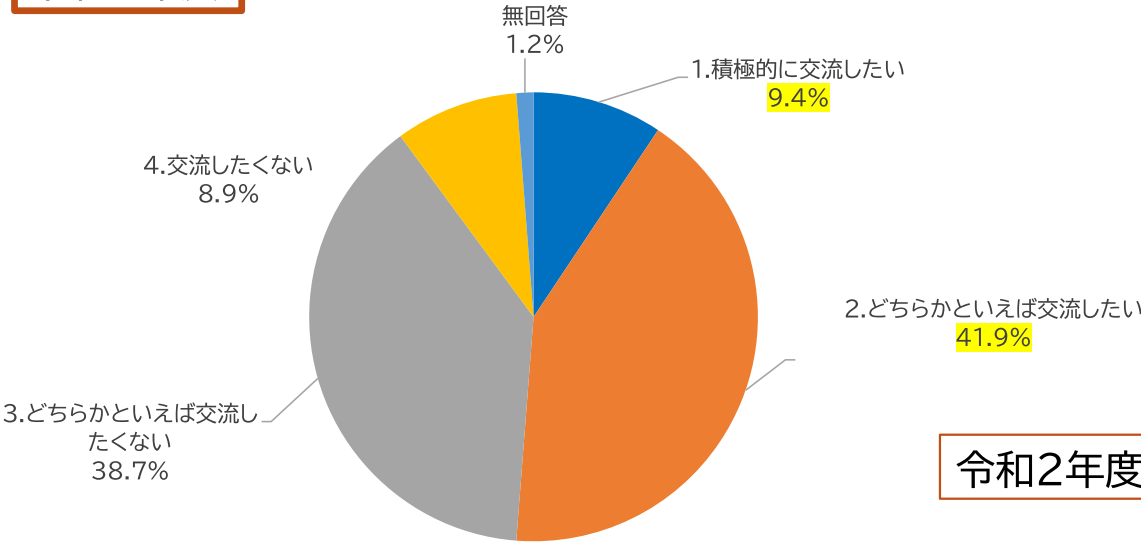
令和2年度と比較すると外国人住民と関わりがある方が増加

令和2年度



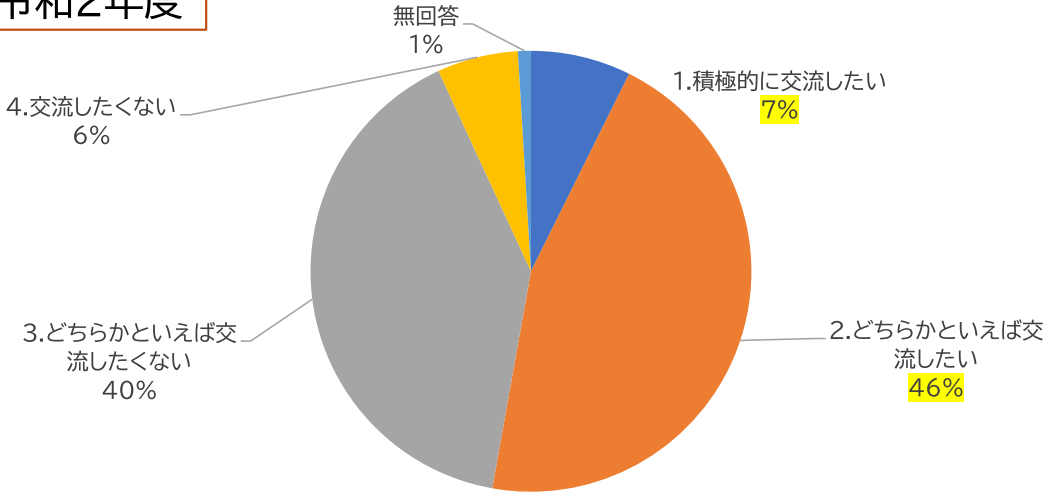
3 あなたは外国人とどの程度交流をしたいですか

令和7年度



令和2年度と比較すると外国人住民と「積極的に交流したい」「どちらかといえば交流したい」という方が微減

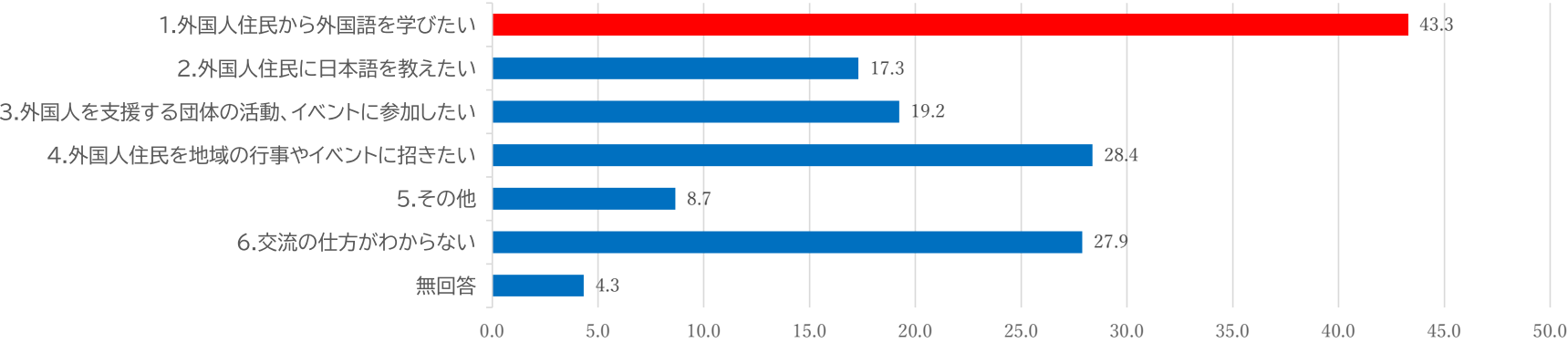
令和2年度



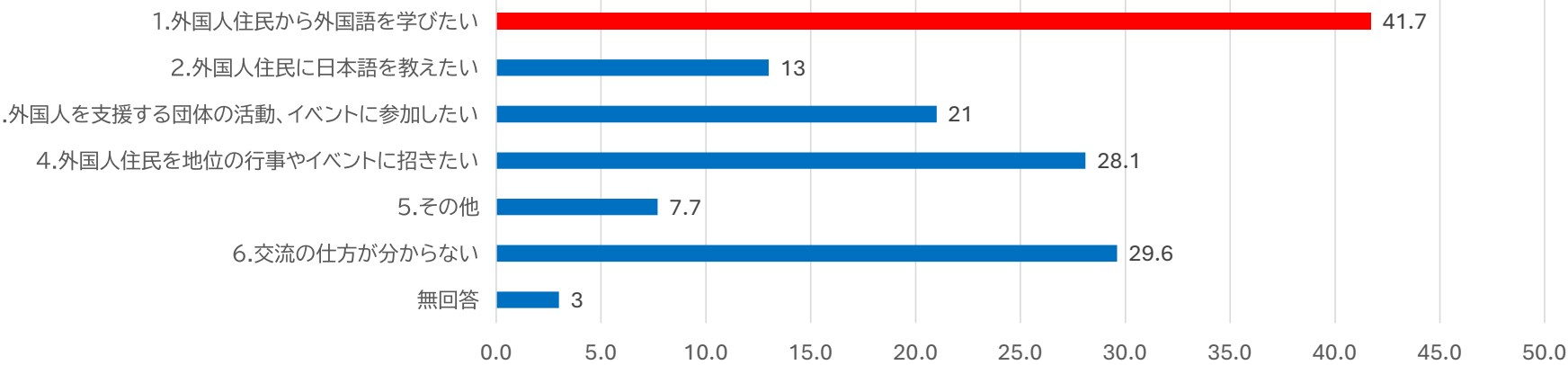
4 質問3で「積極的に交流したい」、「どちらかといえば交流したい」を選んだ人向け
どのような交流をしたいかお聞きします（複数回答可）

令和7年度

令和2年度と変わらず外国語を学びたい方が一番多い



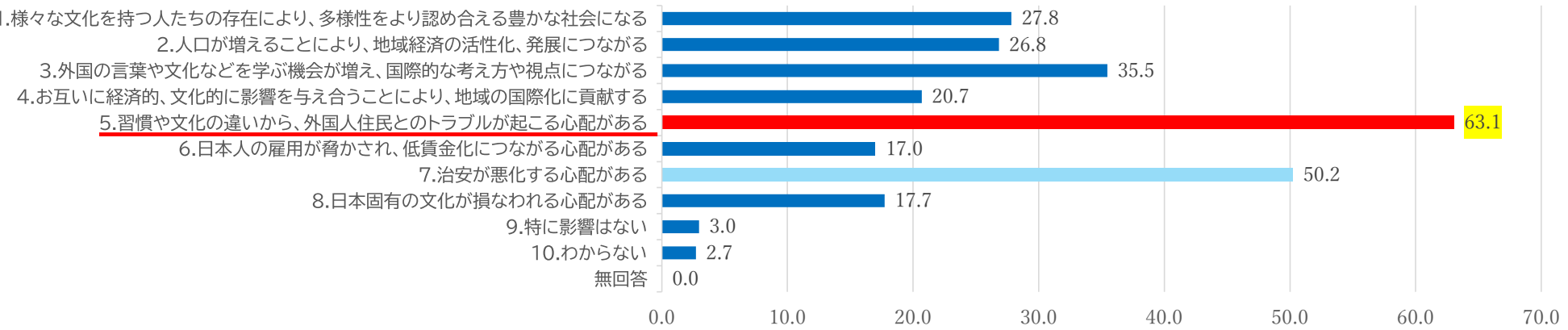
令和2年度



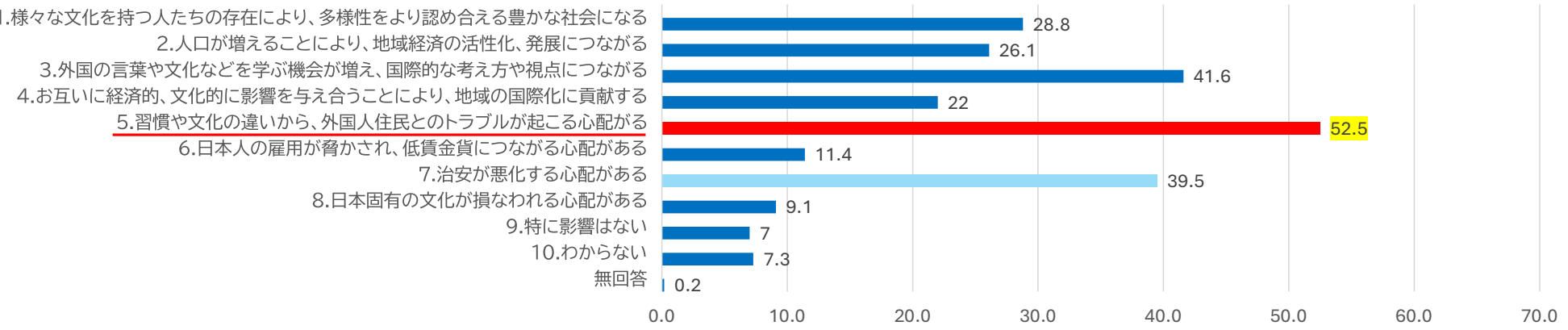
5 あなたは、地域社会に外国人住民が増えることについてどう思いますか（回答は3つまで）

令和7年度

習慣や文化の違いから、外国人住民とのトラブルが起こる心配をしている住民が微増



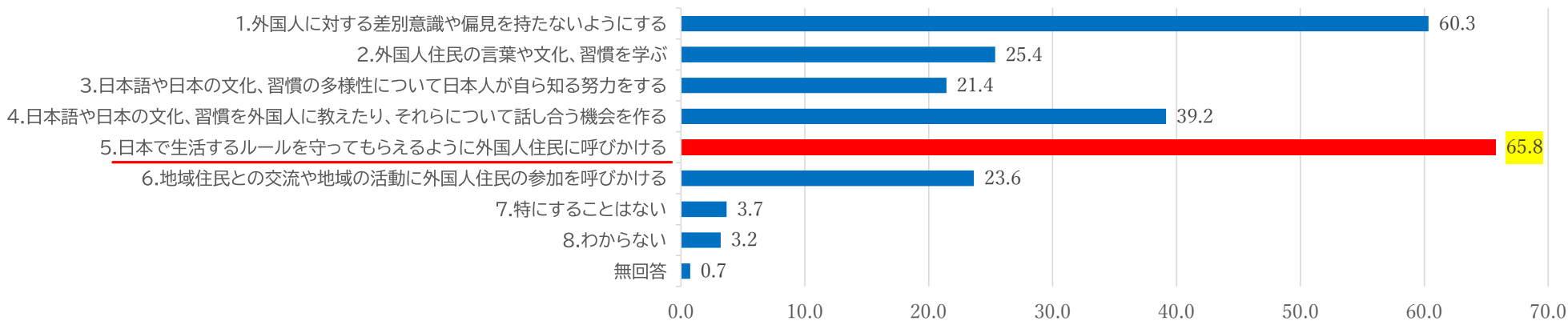
令和2年度



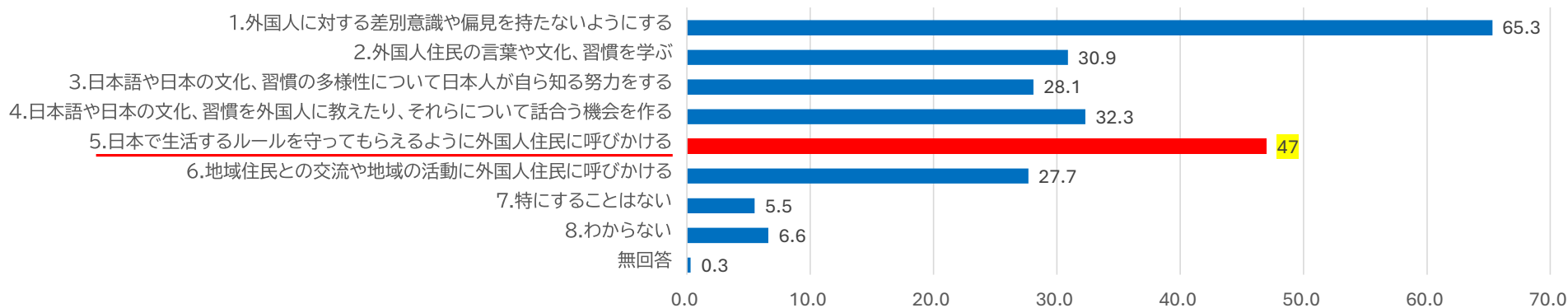
6 多文化共生社会の実現のために、日本人住民ができることはどのようなことだと思いますか
(回答は3つまで)

令和7年度

外国人に対する偏見を持たないようにする意見は減少したものの、日本で生活するうえでのルールを守ってもらえるように呼びかけるといったような声は増加



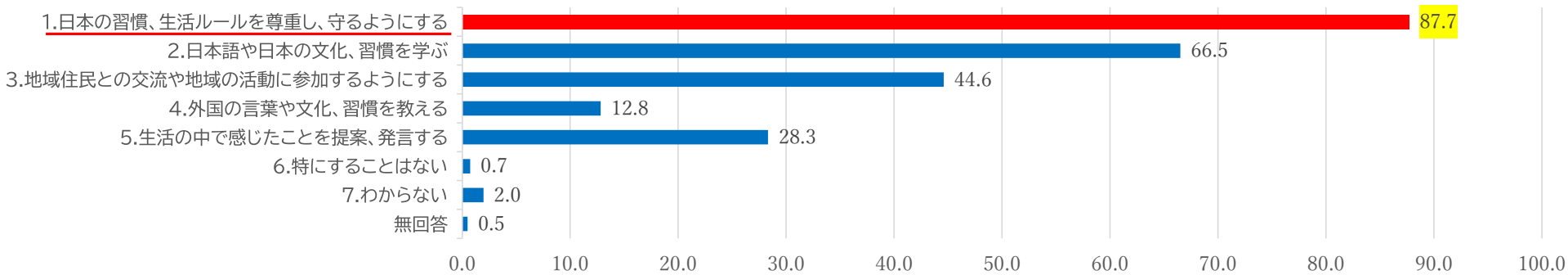
令和2年度



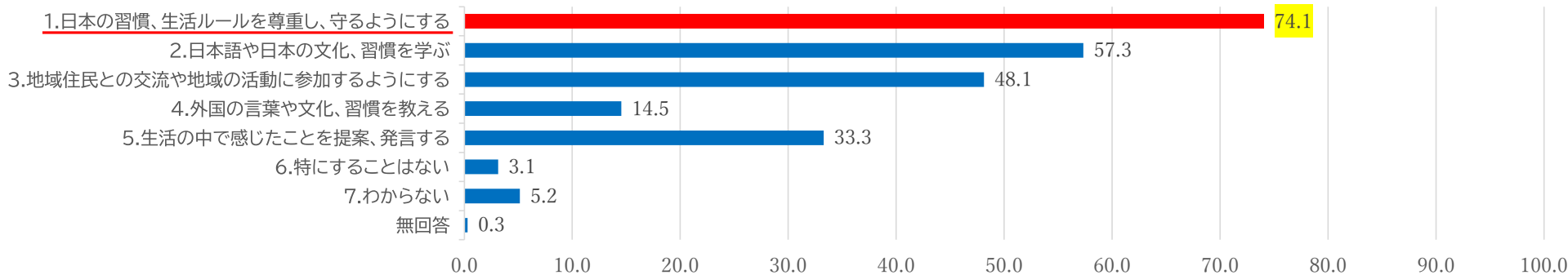
7 多文化共生社会の実現のために、外国人住民は何をすべきと思いますか（回答は3つまで）

令和7年度

令和2年度に続き、日本の習慣や生活ルールなどを守ってほしいという声が多かった



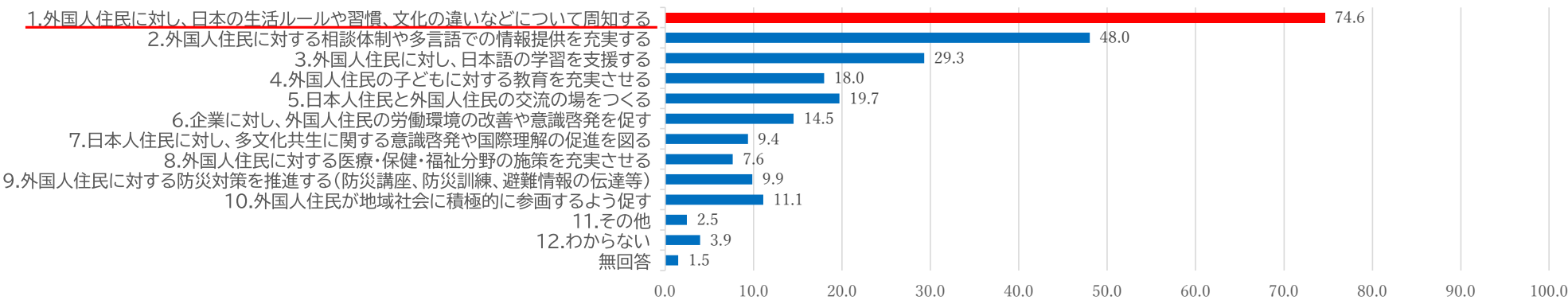
令和2年度



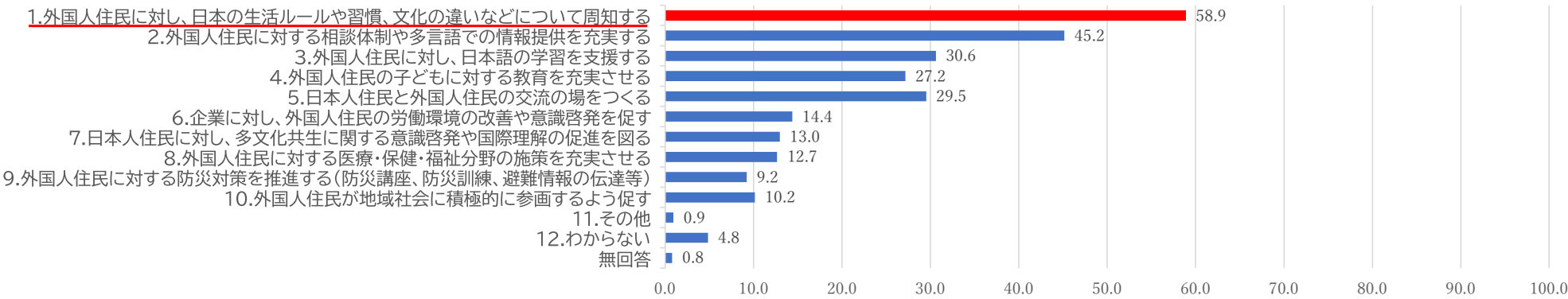
8 多文化共生社会の実現のために、県や市町村などの行政は、どのような取組みに特に力を入れるべきだと思いますか（回答は3つまで）

令和7年度

前問同様、日本の習慣や生活ルールを守ることなどの周知が多く挙げられた



令和2年度



日本人による自由意見（抜粋）

外国人との共生に**肯定的な意見**

- 人口減少・労働力不足の解決策としての受け入れ賛成
- 相互理解・尊重があれば共生は可能という前向きな声
- 外国人の努力や地域貢献を評価する意見も一部あり

外国人受け入れへの**懸念・反対意見**

- 治安悪化、文化摩擦、マナー違反、犯罪の増加への不安
- 「郷に入っては郷に従え」の姿勢を求める声が多数
- 日本人の生活が脅かされる、制度が外国人に甘すぎるという批判
- 特定の国(中国・韓国・クルドなど)に対する拒否感
- 行政の対応不足や制度整備の不備への不満

制度・ルール整備の必要性

- 外国人の受け入れには、ルール・マナー・言語教育の徹底が必要
- 社会保障制度(生活保護・年金など)の公平性を求める声
- 犯罪者や不法滞在者への厳格な対応を求める意見

行政・地域への要望

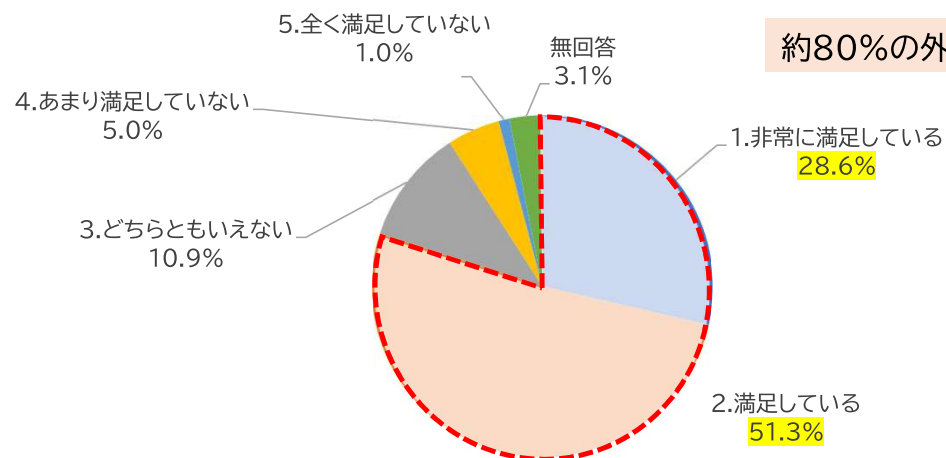
- 情報発信(広報・新聞など)や勉強会の実施を求める声
- 相談窓口の充実、補助金制度の公平な運用
- 地域ルールの周知徹底と外国人への教育の必要性

その他の視点

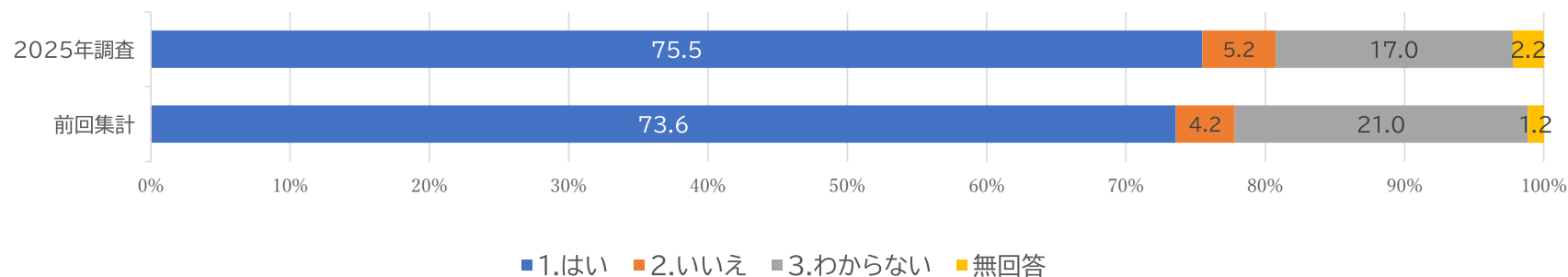
- 多文化共生の前提に疑問を持つ声(アンケートの設計への批判)
- 差別や偏見を助長しないよう慎重な対応を求める意見
- 実体験に基づく具体的なトラブル事例の紹介

外国人県民向け アンケート結果

1 福井県での暮らしに対する満足度を教えてください（新）

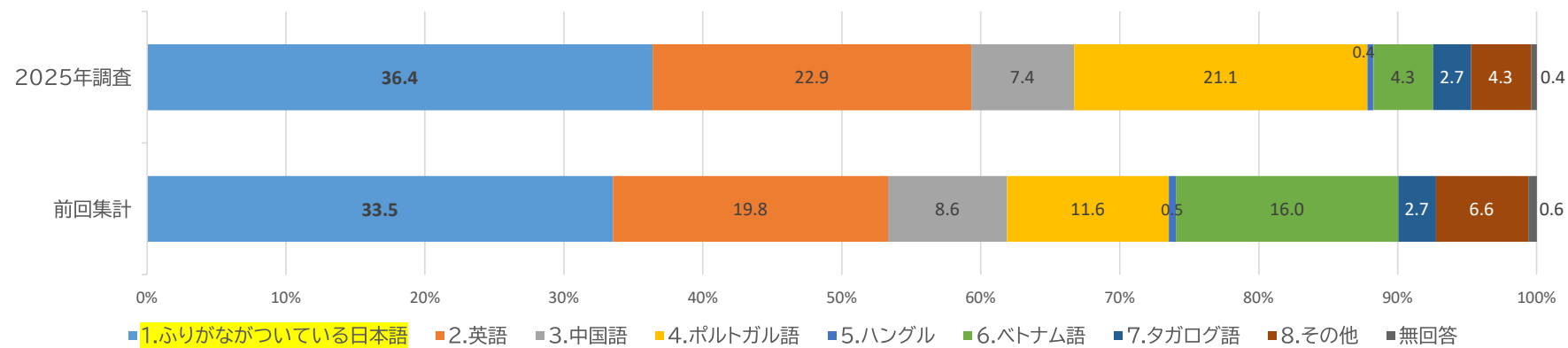


2 あなたはこれからも福井県に住み続けたいですか

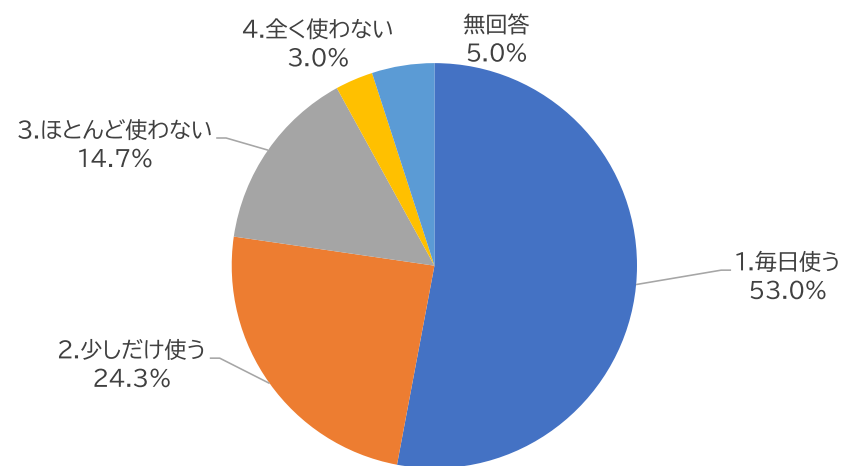


3 あなたはどの言語を読んで理解できますか

令和2年度に引き続き「やさしい日本語」であれば理解できる方が4割

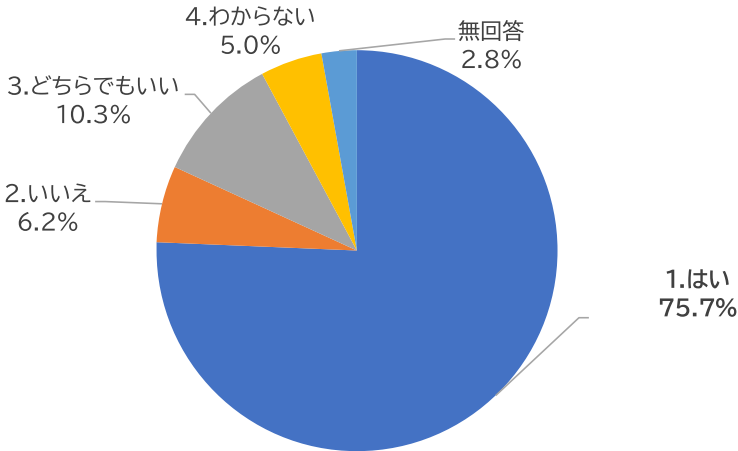


4 日常生活の中で日本語をどのくらい使いますか (新)

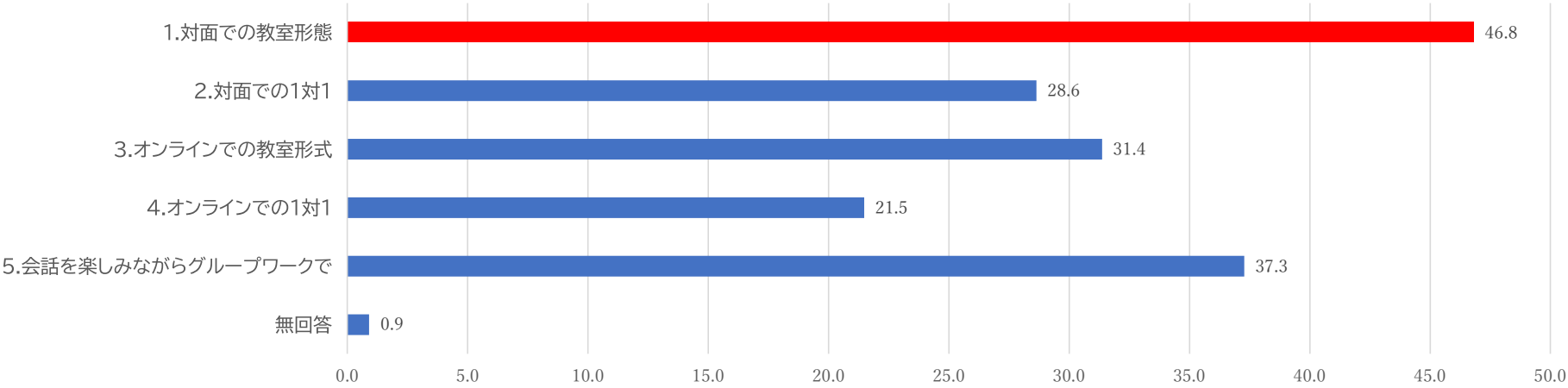


5 日本語を勉強したいですか (新)

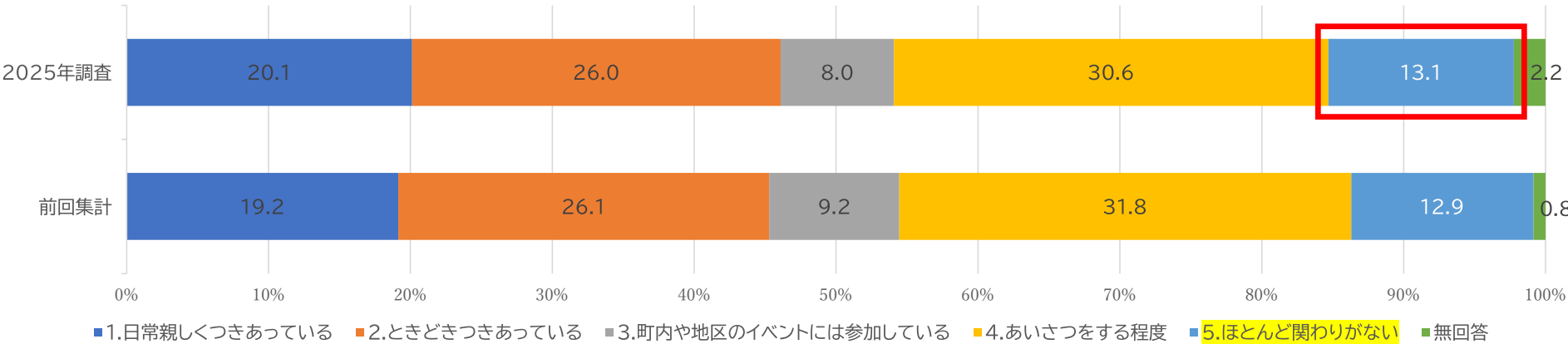
毎日日本語を使用する方が多いことから、教室形態(対面)で日本語を学ぶことを希望している外国人が多い



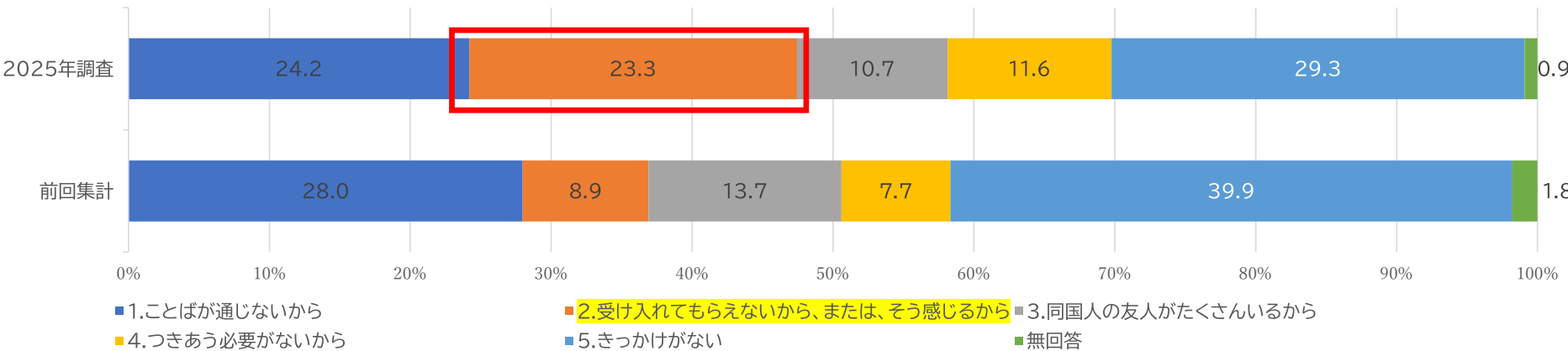
6 上記の質問で「はい」と回答した人はどのように勉強をしたいですか (新)



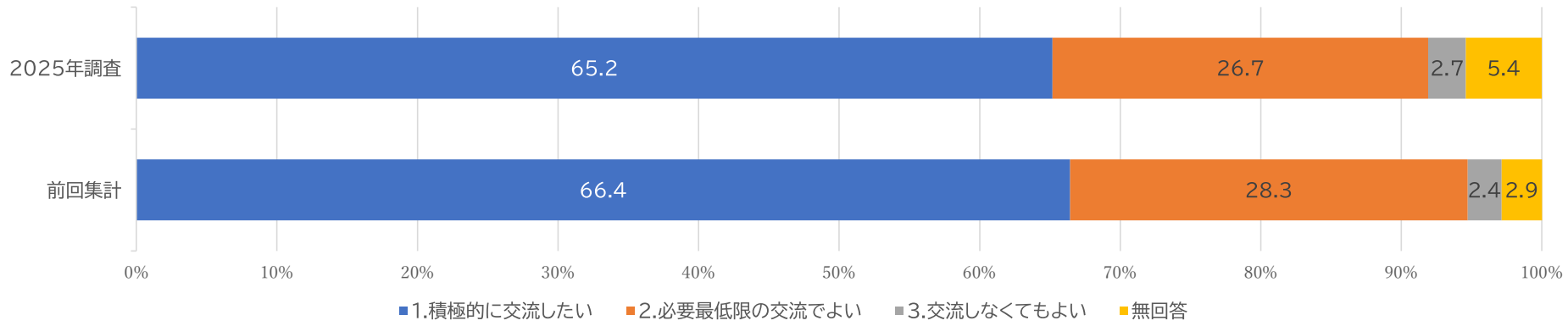
7 あなたは住んでいる町内や地区の日本人とおつきあいをしていますか



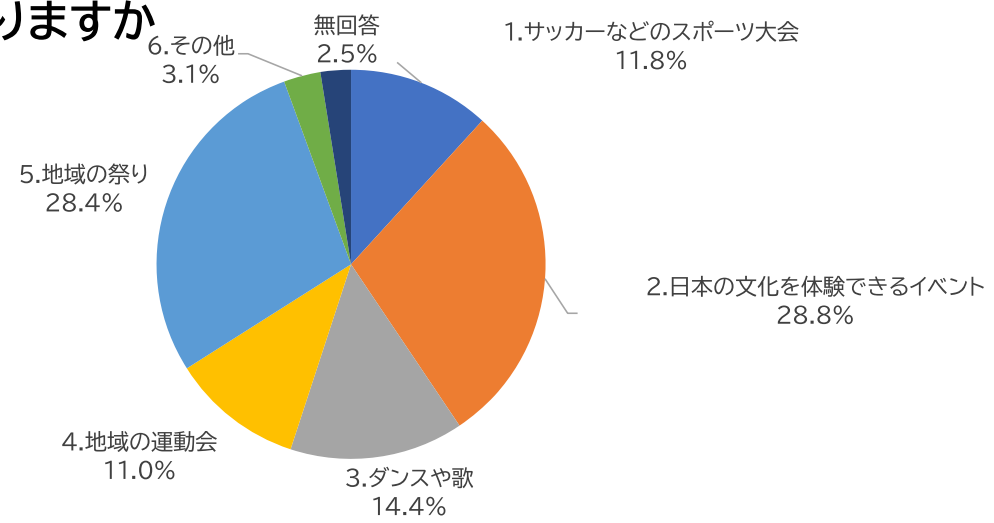
8 上記の質問で「ほとんど関わりがない」と回答した人にその理由をお聞きします



9 あなたは今後、地域の日本人とどの程度交流をしたいと思いますか

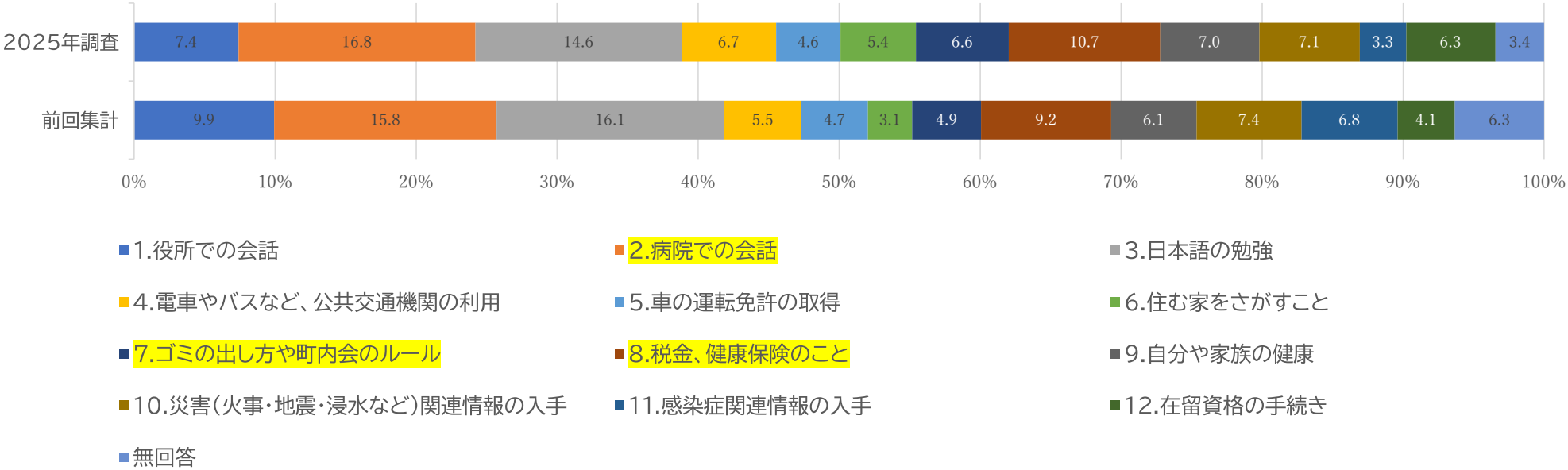


10 参加したい交流イベントはありますか



11 あなたが生活するうえで困っていることは何ですか

令和2年度同様、役所や病院での会話など、コミュニケーションに関して困っているという回答数が多かった



外国人による自由意見（抜粋）

言語・情報支援

- やさしい日本語や多言語での情報提供（災害時、行政手続き、病院など）
- 通訳の配置（病院、役所、学校など）
- 日本語学習の機会の拡充（無料クラス、オンライン対応、職場での支援）

文化交流・イベント

- 地元住民との交流イベント（祭り、料理教室、語学交流など）
- 外国人向けイベントの情報発信の強化
- 日本人が外国文化を知る機会の提供（文化祭など）

教育・子育て支援

- 外国人の子どもへの教育支援（言語、心理的サポート）
- 保育園の整備、子育て世帯への手当の増額
- 学校での多文化理解の促進

職場環境・雇用

- 外国人への差別・偏見の改善
- 外国人が働ける職種の拡大（工場以外、レクリエーション的な仕事など）
- 派遣会社や企業での初期指導の強化

生活環境の改善

- 公共交通の利便性向上（バスの運行時間延長など）
- レジャースペースの整備（バーベキュー場、カリストニクス広場など）
- 地域活動への参加機会の拡充

制度・政策への提案

- 外国人住民への行政支援の強化（手続き、税務、ビザなど）
- 偏見や差別をなくすための啓発活動
- 多文化共生を日常的な施策に組み込むこと